

## ひたちなか市立高野小学校 学校長：茅根 敏男

【実施日時】	平成21年2月5日(木)・6日(金)午前8時45分～午後1時40分
【参加者と人数】	5年生148名(4クラス)
【コーディネーター】	村尾 光子
【講師】	バンズラグチ・バヤルツエツク(モンゴル) タベッシュクー・ベルーズ(イラン)イ・サンウン(韓国)韓 明玉(中国)
【活動内容】	開会セレモニー 講師の方の自己紹介・日本文紹介(「ふるさと」合唱・剣道・柔道紹介・箏の演奏)交流タイム(各学級に講師1名・講師の方の自国の紹介・質問タイム) ふれあい給食タイム 交流タイム(クラスを代えて講師の方の自国の紹介・質問タイム)
【参加者の感想】	・モンゴルでは20以上の県があること、遊牧民がいること、たくさんの方がわかりました。モンゴルのギョウザは、私たちが普段食べているギョウザと違って具が玉ねぎと挽肉だけでした。初めは、紅茶と牛乳で煮込むなんてどんな味がするのだろう?と書いていましたが、実際に作ってみたらとてもおいしくてなんでもおかわりをしました。家でも作ってみようと思います。・イランでは、お酒(アルコール)を飲んだり、豚肉を食べたりしないと聞き驚いた。手作りのペルシャジュータンを見て、手作業でよく作れたものだと感心しました。ダイヤモンドが有名で世界一大きなダイヤモンドの写真を見てびっくりしました。イランの料理「アダスポロ」を実際に入れて試食できたので、とてもうれしかったです。・韓国では、日本に似ていることがたくさんあることがわかりました。特にお菓子は、同じものがあってびっくりしました。「チャチャ」は、ちょっと難しかったけど、面白かったです。「チマチョゴリ」を着せていただいてとても嬉しかったです。男子も喜んで着ていました。「チヂミ」は思ったより簡単に作れました。おいしく焼けたので、今度家でも作ってみたいと思います。
【担当者の感想】	・児童は、プログラムを考えたり歌やリコーダーの練習をしたり教室を輪飾りや紙テープで飾ったりするなどこの日を楽しみにしていました。当日、すぐに打ち解けることができました。また、感謝の気持ちを表したいということで、歌とリコーダーの演奏を先生方に聴いていただいて満足していたようです。講師の話は、自国について理解できるように、図やパフォーマンスを取り入れて説明してくださりととても分かりやすかったです。外国の方々と触れ合い様々な文化についての話を聞いたことは貴重な体験になったと思います。

